

薬学英語 A English for Pharmaceutical Purpose A

薬：K2-15211MY、生命：K2-15211MS

素養科目 2年／前期 1単位 必修科目

科目責任者 林 弘美(英語・英語学研究室)

■教育目的

薬剤師、薬学研究者、医療従事者として、将来、仕事上で英語を使う場合に実際に必要となるのは、口語の場合も文章の場合も、専門的な用語・表現であろう。薬学の中でもさまざまな分野において、その分野特有の専門用語や専門的表現がある。それぞれの分野の特殊な用語や表現を習得し、同じ専門家同士で理解を深め、コミュニケーションができるようになることがこの科目の目的である。下記テキストを用いて、薬学や生命科学と関係する現代社会の諸問題を理解し、薬学部で学ぶ者としての考え方、倫理観、態度を養う。(前期はテキスト前半を扱う。)

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標

1. 英語で書かれた科学、医療に関連する著述の内容を正確に説明できる。(知識・技能・態度)
2. 科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。(知識・技能・態度)
3. 科学、医療に関連する簡単な文章を英語で書くことができる。(知識・技能・態度)
4. 英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。(知識・技能・態度)
5. 英語による日常会話での質疑応答ができる。(知識・技能・態度)
6. 主な病名、組織・臓器名、医薬品名などを英語で発音できる。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：授業予定の章の英文をテキスト付属の音声データを聞きながら読み、分からない単語や事柄を辞書や専門科目の教科書、あるいはインターネットなどで調べる。練習問題に自分で取り組む(50分以上)。

復習：学習した英文を読み直し、不明なところがないようにする。練習問題の内容も確認する。関連する分野の英文をインターネットや図書館の雑誌で探して読んでみる。また、インターネットやテレビ放送などで外国の英文ニュースを視聴する(60分以上)。

■授業形態

課題解決型学習、グループワーク、双方向型授業（ICT活用）、講義

■授業内容

- 医療・生命科学・薬学各分野の英文を読み、正確な読解と速読ができるようにする。
- 医学用語の成り立ちを理解し、専門分野の英語に特徴的な語法を学ぶ。
- 英文法と語法に適った英文を作り、英語の文章にふさわしいパラグラフ構成を理解できるようにする。
- 医療場面で必要な英語の表現を身に付け、医療英語の発音を練習して、相手の気持ちに配慮した応答ができるようにする。

テキスト前半で取り上げられている英文のテーマ

Chapter 1 What matters most?

Chapter 2 'Being dependable' matters (Mrs. Liem's story)

Chapter 3 'Being optimistic' matters (Donna's story)

Chapter 4 'Reaching out' matters (Andy's story)

Chapter 5 'Being trustworthy' matters (Kimberly and Jill's story)

Chapter 6 'Showing commitment' matters (Shona's story)

Chapter 7 'Being responsive' matters (Patrick's story 1)

Chapter 8 'Being responsive' matters (Patrick's story 2)

他に薬学関連の英文教材をプリントにて配布する。

毎回の進め方は次のとおりである。

[No. 1] イントロダクション：授業の進め方について

[No. 2～6] Chapter 1 から Chapter 5 のうち、クラスの学習状況により 2、3 章を取り上げる。

[No. 7] 前回までの復習

[No. 8～13] Chapter 4 から Chapter 8 のうち、クラスの学習状況により 2、3 章を取り上げる。

[No. 14～15] 授業のまとめと期末試験に向けて

※適宜アクティブラーニング教室を利用し、ICT 機器を活用した双方向型授業を行う。

■授業分担者

A組 1班：小田島 創志(非常勤)、A組 2班：刑部 昂(非常勤)、A組 3班：稲田 俊一郎

B組 1班：小田島 創志(非常勤)、B組 2班：三山 美緒子、B組 3班：刑部 昂(非常勤)

C組 1班：刑部 昂(非常勤)、C組 2班：三山 美緒子、C組 3班：稲田 俊一郎

S組 1班：稲田 俊一郎、S組 2班：竹村 哲明(非常勤)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

- ・ 練習問題や小テスト等により理解度を確認し、解説等によりフィードバックを行う。
- ・ 講義に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・ 期末試験(90 %)および小テスト(10 %)で総合評価する。

■ 教科書

What Matters Most? Douglas Paauw 著(三修社)